

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

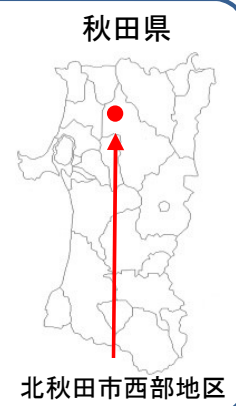
【地区の概要】

- 水稲を主体に、大豆、園芸作物の生産が盛んな平地農業地域
- 担い手の高齢化、労働力不足に対し、更なる農地の集約化、経営の大規模化を推進するとともに、生産性向上を強化する必要がある地区

【支援内容・背景】

- 農地集積による担い手の経営規模拡大に対応し、農作業の効率化、収益力向上による経営安定化を支援する必要。
- 助成対象者は水稲を主とした複合経営を営む者であり、地域の中核的法人として大区画化を生かした農地の集約化、作業効率の向上等により規模拡大。高収益作物である枝豆の栽培に取り組むほか、米、大豆のブロックローテーションを実践。

このため、農作業の効率化と生産性向上を可能とする生産体制の強化を支援。



助成対象者「(農)坊沢営農組合」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

➤ 平成19年 大区画ほ場整備を契機に法人設立

経営改善計画の認定

《事業活用の背景》

○ 経営規模の拡大を図るためには、農作業の効率化が必要。米、大豆のブロックローテーション拡大に向けて必要な反転耕起及び均平作業の効率化に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】 〈R元年度〉		【現在の経営状況】 〈R3年度〉
○付加価値額 29 百万円	《事業による整備内容》 ○ トラクター(96.5PS) 1台 ○ リバーシブルプラウ 1台 ○ バーチカルハロー 1台 ○ レーザーレベラー 1台 事業費 17,104千円 (国費 7,773千円) 	○付加価値額 47 百万円 (162%)
○経営面積 75ha (水稲、大豆、枝豆)		○経営面積 92ha (123%) (水稲、大豆、枝豆)

事業の
効果

《対象者》 作業の効率化により、水稲・大豆・枝豆の生産性が向上し、付加価値額の向上が実現。

《地 区》 高性能機械を導入したことで、作業の効率化が図られ、担い手への農地集積が加速化。平地農業地域における安定した経営が可能な複合経営の大規模モデルが確立。